

持続可能な地域づくりの支援のための手法開発調査委員会
委員名簿

(五十音順、敬称略、 は座長)

青柳みどり(独立行政法人国立環境研究所 社会環境システム領域 環境経済研究室)

浅野直人(福岡大学 法学部 教授)

井手任(独立行政法人農業環境技術研究所 生物環境安全部 植生研究グループ)

井上堅太郎(岡山理科大学 総合情報学部 社会情報学科 教授)

大西隆(東京大学 先端科学技術研究センター 教授)

北村喜宣(上智大学 法学部 教授)

武内和彦(東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授)

内藤正明(京都大学大学院 工学研究科 教授)

藤田壮(大阪大学大学院 工学研究科 助教授)

森口祐一(独立行政法人国立環境研究所 社会環境システム領域 資源管理研究室長)

事務局 株式会社三菱総合研究所 地球環境研究本部 環境研究部

ガイドブックの構成と使い方

- 地域づくりのための取組には、定まった“型”がありません。例えば、十の地域があれば十通りの取組が生まれます。地域が持っている資源ものだけでなく人も含めては、地域固有のものなので、それを活かした地域づくりを進めるということは、その進め方も地域独自のものとなります。
- 本ガイドブックは、定まった“型”を示し、それにならってもらい、いわゆる「マニュアル」ではありません。取組を進めるにあたって、どのような考え方で進めればよいか、発想のヒントを集めた「考え方の資料集」です。
- 本ガイドブックは、地方行政の担当者を主な読者と想定しました。また、地域の環境に関心があり、何かやってみたいと考えていられる方々には参考になるでしょう。
- 本ガイドブックが指している「地域」とは、必ずしも行政区域（市町村）だけを対象としているわけではありません。例えば、河川流域といった広い範囲を対象とすることもありますし、市町村内の特定の地区を対象とすることもあります。つまり、取り組むみなさんが、自ら対象とする「地域」の範囲についても、考えることが大切なのです。
- 本ガイドブックは、抽象的な解説からはじまっていますが、読み進めていけば、具体的な内容になります。また、それぞれの章は、単独でも理解できるようになっています。前から順番に読み進めていくだけでなく、必要な部分だけ読まれても理解できるように、各章、各ページ（見開き）の構成を工夫しました。

ガイドブックの構成

このガイドブックは、大きく4つの章からなる本編と、事例集および用語集による資料編によって構成されています。

第1章(導入編)

- 「持続可能な地域づくり」について、環境配慮と地域づくりの関係について示しました。

第2章(プロセス編)

- 「持続可能な地域づくり」を進めるにあたっての、考え方のプロセスを示しました。

第3章(手法編)

- プロセス編で提示した段階ごとに活用できる手法について、事例を交えながら示しました。

第4章(展開編)

- 「持続可能な地域づくり」にあたって、身近なテーマを挙げて、そのテーマをもとにした展開の仕方の一例を示しました。

資料編

- 第4章(展開編)で扱ったテーマを中心とした事例を紹介した事例集と、本編で用いられている主な用語を解説した用語集を設けました。

ガイドブックの全体構成



ガイドブックの使い方

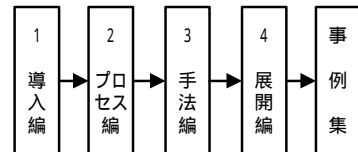
本ガイドブックは、様々な使い方があります。読み物として活用する方法もありますが、資料集として事典代わりに活用することもできます。そのような使い方の一例について、以下に示しました。みなさんも自分なりの活用方法を見つけ出してみてください。そして、本ガイドブックを有効に活用してください。

ガイドブックの使い方（例）のイメージ

「持続可能な地域づくり」とは何なのか、はじめから理解してみたい人

活用例：ガイドブックを順番に読み通す

導入編から順番に読み進めていくのが良いでしょう。抽象論からはじまりますが、徐々に具体的な内容になります。最後まで読み通せば、ひとつおりの理解が図れます。



「持続可能な地域づくり」に取り組むにあたり、具体的なヒントを得たい人

活用例：各編を個別に参照する

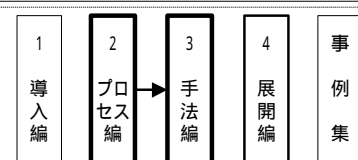
プロセス編では考え方が、手法編では具体的な手法が、展開編ではテーマごとの展開例が、事例編では取組事例が載っているので、必要な部分を参照する「事典」として活用できます。



「持続可能な地域づくり」をすでにはじめていて、さらに発展させたい人

活用例：一歩進んだ段階の取組を中心に参照する

プロセス編、手法編では、一歩進んだ段階からの取組について参考になることもまとめています。展開編では、テーマごとに一歩進んだ取組のイメージを提示しています。



他にも、プロセス編の前半部分に戻って読み直すことで、これまでの取組を振り返ることもできます。